

小金沢山山行報告

【山行日】2024年 11月 17日(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所P AM 5:00

【費 用】マイカー1台 : 4,000円

【メンバー】CL:鈴木ユ、SL:藤原ト、
青柳、石澤、小林、根本

【コースタイム】岩舟支所 P4:30 = 湯ノ沢峠

P6:50/7:10~展望所 7:40/7:50~白谷丸 8:00~

黒岳 8:15~牛奥ノ雁ヶ腹摺山 9:10/9:25~

小金沢山 10:00/10:20 ~ 牛奥ノ雁ヶ腹摺山

10:50/11:20~黒岳 12:20/12:35~

湯ノ沢峠 P13:20/13:40=岩舟支所 P16:15



今日は、S リーダー一押し的小金沢山に登ります。標高は 2014mですが、登山口が 1650mと標高差の少ない山です。林道を走り標高が上がってきたら、カーブの度に雪を冠った富士山が見え、



皆歓声をあげました。中には「もうこれで充分」なんて声も！予定通りに到着し、トイレや準備体操を済ませ出発します。湯の沢峠を左に進み、黒岳から牛奥ノ雁ヶ原摺山を目指します。天気は快晴で富士山の眺望が楽しみです。ほどなく深くえぐれた急登になった辺りで、A さんの息使いが苦しそうになり汗もかいてきました。休んだり水を飲んだりしても痰が切れないようです。休んでいいから、もう少し登れば最初の見晴らしに出るからそこまで頑張って！と励ましましたが、「無理、登れない」と言っています。リーダーはとりあえず私達を見晴らしまで案内し、ひととき富士山を眺めると A さんのもとへ戻り下山しました。

なので、ここからは H サブリーダーのもと予定通り小金沢山を目指します。

冠雪した富士山は最高です。開けた大展望からは、ちょこっと雪を冠った富士山が真っ青な空に大きく見え、今日はこの富士山をずっと見られるのだと、ワクワクしました。西には一直線に南アルプスの山々が見え、K さんも大喜びです。眼下は一面雲海で、右の方には滝雲も見られます。写真を撮り存分に堪能したら、K さんを先頭に出発します。モミやシラビソの尾根を登ると黒岳に着き小休止します。苔が美しい樹林帯を進み、一度笹の平坦地に下ります。

なので、ここからは H サブリーダーのもと予定通り小金沢山を目指します。

冠雪した富士山は最高です。開けた大展望からは、ちょこっと雪を冠った富士山が真っ青な空に大きく見え、今日はこの富士山をずっと見られるのだと、ワクワクしました。西には一直線に南アルプスの山々が見え、K さんも大喜びです。眼下は一面雲海で、右の方には滝雲も見られます。写真を撮り存分に堪能したら、K さんを先頭に出発します。モミやシラビソの尾根を登ると黒岳に着き小休止します。苔が美しい樹林帯を進み、一度笹の平坦地に下ります。



ここからの笹の中の急坂を上り返します。Nさんは少し辛そうでしたが頑張ってついてきて、明るく開けた牛奥ノ雁ヶ原摺山に着き小休止します。牛奥ノ雁ヶ腹摺山は山名が日本一長い山で眺望も素晴らしく、登ってきた方に集合写真を撮ってもらいました。Nさんはここまでで十分！と言いましたが、この後は平坦であと30分だから頑張って！と励まし小金沢山に向かいます。予定より30分早く到着し大休止しました。ゆっくり眺望を楽しみ記念写真を撮ったら、今登ってきた道に戻ります。あつと言う間に牛奥ノ雁ヶ原摺山に着き、時間は少し早いけれど予定通り昼食を摂ります。

山頂には何組か登山者が居て、そのあとも両方向から登ってきます。こんな晴天には山に登って富士山を眺めたいですね。若干の登り返しはあるものの、ほぼ下りなので、富士山を眺めながら快調に歩き、予定より1時間早く下山しました。駐車場では、体調が回復し太蔵高丸方面を歩いたというリーダーとAさんが丁度戻ったところでした。お二人も富士山を堪能できたとのことで良かったです。

リーダー一押しの小金沢山ルートは、手前に山々が幾重にも重なり、富士がひときわ大きく美しくみえる素晴らしい山行でした。

PS. 朝は日の出前で薄暗かったのですが、帰りの山道の紅葉の素晴らしいこと！ゆっくり車を走らせてくれたので、車窓から存分に黄葉紅葉を楽しむことが出来ました。 by SK

我輩は展望所で4人と分かれ、登山口駐車場に向かって下って行くと、湯ノ沢峠の手前で登ってくるAさんと会った。下って来て良かったと思った。「駐車場で待ちます」と言っても、大概の人は回復すると動き出すようだ。単独で行動し、道に迷って行方不明になるケースは結構多いのだと聞く。



体調を聞くと「痰は切れないが歩ける」と言うので、南側の大蔵高丸からハマイバ丸方面に向かうことにする。こちらのコースは小金沢山コースより標高が200mくらい低く、緩やかな稜線歩きが続くので楽に歩ける。

Aさんのペースでのんびり歩き、大蔵高丸の

山頂に着く。200m低い分雲が多く、富士山は上半分くらいしか見ることが出来ない。草原状の稜線歩きは気持ちよく、ハマイバ丸まで行くと雲が取れ富士山が良く見えるようになる。この先の大谷ヶ丸に向かうが結構急降下なので、登り返しを考慮して天下石から戻ることにした。ハマイバ丸への登り返しはきつかったが、その先はなだらかな稜線歩きが続き気持ちよい道である。大蔵高丸まで戻り、少し早いランチタイムとする。山頂の大きな岩の上に腰かけて、お湯を沸かしてカップ麺やみそ汁を作る。我輩はお稲荷さんとから揚げに、熱い味噌汁で美味しくいただいた。



風も無く穏やかな天気なので、お茶を飲みながらのんびり過ごし、隣にいた登山者と山の話で盛り上がる。富士山や南アルプスの展望を楽しみながら1時間くらい過ごし、湯ノ沢峠に向かって下山開始する。駐車場に1時頃到着し、日向ぼっこをしながら待つと、皆さんが笑顔で戻って来た。